

平成29年度 都市景観大賞

東北から

「大賞」 1件（宮城県石巻市）

「特別賞」 1件（宮城県仙台市） 受賞！

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」において、全国各地の応募の中から、宮城県石巻市の「中央一丁目「街並み委員会」～震災を乗り越え、人とのつながりが息づく、歩いて暮らせる安全なまちを目指して～」が大賞に選ばれました。

「都市空間部門」においても、宮城県仙台市の「とうほくだいがくかたひら東北大学片平キャンパス地区」が「特別賞」に選ばれました。

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し「大賞」、「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しております。

なお、大賞（国土交通大臣賞）の表彰につきましては、6月16日に開催される「まちづくりと景観を考える全国大会」（東京都文京区「すまい・るホール」）において行われます。

別紙1 受賞活動・受賞地区の概要

別紙2 平成29年度都市景観大賞受賞地区及び団体の一覧（全国分）

別紙3 過去の東北管内受賞地区等一覧（平成18年度～28年度）

< 発表記者クラブ：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ >

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局

電話 022-225-2171（代表）

建政部 計画管理課長

佐藤 孝（内6121）

計画管理課長補佐

田中 昇（内6132）



平成 29 年度 都市景観大賞

「都市空間部門」受賞地区の概要

「景観まちづくり活動・教育部門」受賞活動の概要

「都市景観の日」実行委員会

■主催：「都市景観の日」実行委員会

(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、(一社)日本屋外広告業団体連合会、(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <http://www.udc.or.jp>

景観まちづくり活動・教育部門

【大賞】（国土交通大臣賞）

■活動名：中央一丁目「街並み委員会」

～震災を乗り越え、人とのつながりが息づく、歩いて暮らせる安全なまちを目指して～

■活動範囲：宮城県石巻市（中央一丁目地区）

■応募者：中央一大通り会、横浜国立大学 都市計画研究室、株式会社 街づくりまんぼう、石巻市

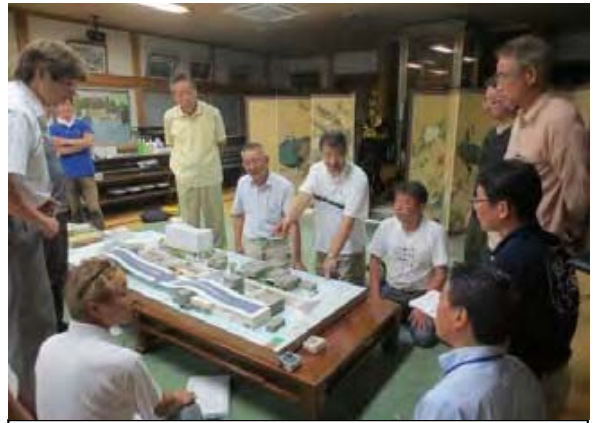
■活動の概要：

中央一丁目「街並み委員会」は、震災復興に伴う区画整理事業の導入を契機に、地域住民が主体となり、「これまで」と「これから」のまちを考え、実践していく取り組みである。地域住民、横浜国大、TMO会社、行政が立場を超えた対等な議論を行い、まさに“市民協働を通じたまちづくり”と呼ぶべき活動を行っている。

活動を通じ作成された「まちづくり手帖」は地域住民の想いが結集したものであり、今後まちづくりを行っていく上で、常に立ち返る羅針盤的役割を果たし、これからの将来像を示す道標となっている。

震災からの復興という「素早い対応」が必要である一方、コミュニティの再構築といったまちづくりの諸課題には「丁寧な対応」が必要であり、時間軸の異なる2つの課題に、官民学が連携することによって「ビルド・バック・ベター」を体現した。今後も、エリア

としての価値向上につながり、中心市街地全体に波及するよう継続的に活動していく。



「街並み委員会」にて模型を目の前に、自らの店舗の再建とまちの将来の両方を同時並行的に議論

■審査講評：

東日本大震災によって大きな被害を受けた石巻市中央一大通り会は、復興計画として市から提案のあった都市計画道路を拡幅する案（10m→17m）を当初は受け入れなかった。しかし、それを契機にして商店会は自主的な「街並み委員会」を発足させ、まちづくり会社や大学の支援を受けながら31回の勉強会を重ね、拡幅を前提にしながらも、商店会とお客さんとの豊かなコミュニケーションを実現するための「まちづくり手帖」を作成した。その結果、震災からわずか5年半という短い期間で本道路の整備と沿道の街並みが完成した。

被災地の道路整備は、ややもするとハード先行になりがちであるが、中央一大通り会では、道路の役割をハードのみならず、ソフトな役割を明確にしながら、合意形成を図った事例として極めて貴重である。特に、「こども」を意識した商店とのふれあいや復興公営住宅の入居者との様々なイベント等の企画も素晴らしい。被災地における防災、街並み、コミュニティ等の課題をうまく連携させたまちづくり活動として高く評価することができる。（卯月）

■地区名：東北大学片平キャンパス地区 ■面積：約 23.0 ha ■所在地：宮城県仙台市

■応募者：国立大学法人 東北大学、仙台市

■地区の概要：

当地区は仙台市の中心市街地南西に位置する、広瀬川沿いにある東北大学のキャンパスである。第二次世界大戦における空襲で近代建築の大半が失われた仙台市中心部において、わずかに残った宮城県庁などの近代建築も戦後取り壊されるなか、現存する近代建築のほとんどが当地区に集積している。また、かつての豊かな屋敷林により「杜の都」と呼ばれるようになった仙台市において、当時の面影を現代に残す貴重な緑地や樹木も存在している。

この近代建築の保存を希望する市民有志による「片平たてももの應援團」、「片平キャンパス近代建築トラストファンド」の取組みや、東北大学によるキャンパスマスタープランに則ったデザインコードに基づく整備、仙台市によって策定された景観重点区域における方針やルールを踏まえた景観誘導などにより、歴史・伝統と新たな魅力が調和のとれた都市景観と緑豊かなオープンスペースが一体となって、当地区は「学都」仙台を代表する優れた景観を形成している。レストランやギャラリーなど一部施設を新しく開放的に整備しただけでなく、オープンスペースを整備したことで、これまで以上に地域住民や市民に開かれた豊かな都市空間となった。

また、大学主催の公開イベントなど新たな動きも出てきており、市民・大学・行政それぞれが片平キャンパスを身近な魅力的な都市空間として整備、活用する動きがさらに広がっている。

■審査講評：

昭和 60 年「仙台市都市景観建築計画」に片平キャンパスが位置づけられて、平成 21 年に景観法に基づく景観重点地区指定等で市と連携。周辺町内会の市道への街灯寄贈に始まり、平成 14 年には「片平キャンパス近代建築トラストファンド」設立や維持管理参加等につながる景観サポーター制度から組成された「片平たてももの應援團」の活動等、市民活動による大学建造物の近代建築の価値を大学が受入れ連携を図ったこと。さらに、門や塀を取り除いて開かれた大学キャンパスを目指した広場空間の創出や、市民利用の可能な飲食やセミナー施設を設置するなど積極的に開かれた大学を目指した各種の活動が景観と地域活性化に寄与した点が高く評価できる。

国立大学という限られた予算の中で、スクラッチタイルを用いたシンプルなデザインコードにより、複数の歴史的建造物の再生や新規建築物へのデザインリレーを実現していること、また、慶応元年に寄進された枝垂桜や大正時代からの松並木、昭和 25 年に寄贈されたメタセコイヤ、樹齢 200 年を超えるイチヨウ等の保存等、キャンパス内の樹木も合わせて行っており、今後の大学キャンパスの保全・再生・活用のモデルになり得ることから特別賞にふさわしいと評価された。（池邊）



中心市街地の一番町通りの突き当たりの北門周辺。塀も門扉もないポケットパーク状のオープンスペースとカフェテリアなどが一体となって開かれたエントランス空間となっている。



青葉城を向く正門からの軸線。建物の一部を塔状に立ちあげ、アイストップとなるデザインとしている。また、旧制第二高等学校時代から続く赤松の並木を生かした景観を維持している。



片平北門会館と北門周辺。市道を挟んでオープンスペースと福利厚生施設を整備し、にぎわいを演出。市道は、歩道を拡張。緑地の縁石部分をベンチ上にして人々が憩える空間を整備。



春の学徒記念公園。学生、教職員のみならず近隣の住民や市民のお花見や憩いの場として親しまれている。

「景観まちづくり活動・教育部門」

受賞活動一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：12件

| 活動名 | 活動エリア | 応募者 |
|--|-------------------|--|
| 中央一丁目「街並み委員会」～震災を乗り越え、人とのつながりが息づく、歩いて暮らせる安全なまちを目指して～ | 宮城県石巻市 中央一丁目地区 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <small>ちゅうおういちおおどお</small> 中央一大通り会 ・ 横浜国立大学 都市計画研究室 ・ 株式会社 街づくりまんぼう ・ 石巻市 |
| 美しいふるさと <small>あつみ</small> 渥美を愛する心を育む 『 <small>ふくちゅう</small> 福中まちづくりプロジェクト』 | 愛知県田原市 福江中学校区 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <small>たはら ふくえ</small> 田原市立福江中学校 |

「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

| 活動名 | 活動エリア | 応募者 |
|---|-----------------------------|--|
| 里山を生かしたまちづくり | 千葉県白井市 平塚、神々廻、 十余一地区 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定非営利活動法人 しろい環境塾 |
| <small>おかざきひゃっけい</small> 岡崎百景 -私とまちの100のドラマ- | 愛知県岡崎市 岡崎市全域 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡崎市 ・ 特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた ・ <small>おかざきひゃっけい</small> 岡崎百景推薦人 |
| <small>とよかわいなりおもてさんどう</small> 豊川稲荷表参道商店街景観整備事業 | 愛知県豊川市 門前町 豊川稲荷表参道商店街 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 建築都市設計研究室 |

「都市空間部門」

受賞地区一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：10件

| 地区名 | 地区面積 | 応募者 |
|---|-----------|---|
| <small>はんだうんがしゅうへん</small> 半田運河周辺地区 (愛知県半田市) | 約 44.4 ha | <ul style="list-style-type: none">株式会社 Mizkan Holdings半田市特定非営利活動法人 半六コラボ株式会社 NTTファシリティーズ株式会社 石本建築事務所株式会社 GKデザイン総研 広島 |
| <small>くまづ</small> クラシック草津地区 (群馬県草津町) | 37.7 ha | <ul style="list-style-type: none">草津町 |
| <small>ながのえきぜんこうじぐちえきまえひろば</small> 長野駅善光寺口駅前広場地区 (長野県長野市) | 約 0.6 ha | <ul style="list-style-type: none">長野市東日本旅客鉄道株式会社 |

「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

| 地区名 | 地区面積 | 応募者 |
|---|----------|--|
| <small>ふくいえきにしがち</small> 福井駅西口地区 (福井県福井市) | 約 1.6 ha | <ul style="list-style-type: none">福井駅西口中央地区市街地再開発組合福井市株式会社 アール・アイ・エー株式会社 竹中工務店パシフィックコンサルタンツ 株式会社 |

「特別賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

| 地区名 | 地区面積 | 応募者 |
|--|-----------|---|
| <small>とうほくだいがくかたひら</small> 東北大学片平キャンパス地区 (宮城県仙台市) | 約 23.0 ha | <ul style="list-style-type: none">国立大学法人 東北大学仙台市 |

平成 29 年度 都市景観大賞について

平成 29 年度は、下記の通り、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。平成 27 年度、景観法 10 周年記念として実施した「景観づくり活動部門」と従来の「景観教育・普及啓発部門」を統合し、平成 28 年度から、「景観まちづくり活動・教育部門」として募集しています。

I. 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …… 原則 1～2 地区
- ② 優秀賞 …… 数地区
- ③ 特別賞 …… 内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

| | | |
|-----|-------|--------------------------|
| 委員長 | 陣内 秀信 | 法政大学教授 |
| 委員 | 池邊このみ | 千葉大学教授 |
| | 卯月 盛夫 | 早稲田大学教授 |
| | 岸井 隆幸 | 日本大学教授 |
| | 佐々木 葉 | 早稲田大学教授 |
| | 高見 公雄 | 法政大学教授 |
| | 田中 一雄 | ㈱GK デザイン機構代表取締役 |
| | 富田 泰行 | トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役 |
| | 国土交通省 | 都市局公園緑地・景観課長 |
| | 国土交通省 | 都市局市街地整備課長 |
| | 国土交通省 | 住宅局市街地建築課長 |

(順不同、敬称略、平成 29 年 3 月時点)

II. 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …… 原則 1～2 活動
- ② 優秀賞 …… 数活動
- ③ 特別賞 …… 内容に応じ、適宜選定

3. 募集対象

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を 3 年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

| | | |
|-----|-------|----------------|
| 委員長 | 小澤紀美子 | 東京学芸大学名誉教授 |
| 委員 | 卯月 盛夫 | 早稲田大学教授 |
| | 大道 博敏 | 江東区立越中島小学校主幹教諭 |
| | 福井 恒明 | 法政大学教授 |
| | 国土交通省 | 都市局公園緑地・景観課長 |

(順不同、敬称略、平成 29 年 3 月時点)

| 年度 | 美しいまちなみ賞 | 都市空間部門 | 景観教育・普及啓発部門 | 景観づくり活動部門 | 景観まちづくり活動・教育部門 |
|--|--|--|---|-------------------------------|--|
| 18 | ○優秀賞 黒石市 こみせ通り地区(青森県黒石市) ・津軽こみせ株式会社 ・青森県黒石市 | | | | |
| 19 | ○優秀賞 三春町 大町地区(福島県三春町) ・磐州通り街づくり協定運営委員会 ・福島県三春町 | | | | |
| 20 | 該当なし | | | | |
| 21 | 該当なし | | | | |
| 22 | ☆大賞 金山町 金山地区(山形県金山町) ・金山地域区長サミット ・山形県金山町 ○優秀賞 会津若松市 七日町通り地区(福島県会津若松市) ・七日町通りまちなみ協議会 ・福島県会津若松市 | | | | |
| ※平成22年度までは、「美しいまちなみ賞」として表彰。 | | | | | |
| 23 | | ◇特別賞 仙台市 定禅寺通地区(宮城県仙台市) ・定禅寺通街づくり協議会 ・宮城県仙台市 | ○優秀賞 建築や都市デザイン手法を用いた景観まちづくり学習 ・建築と子供たちネットワーク仙台(宮城県仙台市) ○優秀賞 わくわくタイム(大好き中央台) ・いわき市立中央台東小学校(福島県いわき市) | | |
| ※平成23年度から26年度までは、「都市空間部門」と「景観教育・普及啓発部門」の2部門として表彰。 | | | | | |
| 24 | | 該当なし | 該当なし | | |
| 25 | | 該当なし | ☆大賞 子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト-出会いから震災復興まで- ・建築と子供たちネットワーク仙台(宮城県仙台市) | | |
| 26 | | ☆大賞 鶴岡市シビックコア周辺地区(山形県鶴岡市) ・鶴岡市 ・馬場町五日町線まちづくり協議会 ○優秀賞 小峰城跡・白河駅周辺地区(福島県白河市) ・白河市 ・株式会社 楽市白河 ・特定非営利活動法人しらかわ建築サポートセンター | ○優秀賞 骨寺村荘園遺跡の景観保全活動を通じた地域づくり事業 ・本寺地区地域づくり推進協議会(岩手県一関市) | | |
| ※平成27年度は、「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」及び「景観づくり活動部門」の3部門として表彰。 | | | | | |
| 27 | | ○優秀賞 二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区(福島県二本松市) ・竹田根崎まちづくり振興会議 ・福島県・二本松市 ・早稲田大学都市計画研究室 ・芝浦工業大学地域デザイン研究室 | 該当なし | ☆大賞 住民参画による景観まちづくり ・宮城県松島町 | |
| 28 | | ◇特別賞 新蛇田地区(石巻市) ・石巻市 | | | ☆大賞 南町2850プロジェクト～喜多方市小田付地区 空き家・空き地の再生～ ・会津北方小田付郷町衆会 ・福島県立喜多方桐桜高等学校 ・株式会社 ワークヴィジョンズ ・福島県建築士会 喜多方支部 ・株式会社 光進都市コンサルタント ・福島県喜多方建設事務所 ・喜多方市 ・公益財団法人 福島県区画整理協会 ○優秀賞 高校生と共に進めるイザベラ・バードの古道復元活動 ・諏訪峠古道保存会 ○優秀賞 まちづくり総合学習 ・いわき市立久之浜第一小学校 ・久之浜大久地区まちづくりサポートチーム |
| 29 | | ◇特別賞 東北大学片平キャンパス地区 ・国立大学法人 東北大学 ・仙台市 | | | ☆大賞 中央一丁目「街並み委員会」～震災を乗り越え、人とのつながりが息づく、歩いて暮らせる安全なまちを目指して～ ・中央一大通り会 ・横浜国立大学 都市計画研究室 ・株式会社 街づくりまんぼう ・石巻市 |

※平成28年度から、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」の2部門として表彰(平成13年度からの受賞地区につきましては(公財)都市づくりパブリックデザインセンターのホームページをご参照ください。)
<http://www.udc.or.jp/activities/taisho/jushochiku.html>